

2022 FIM 世界耐久選手権シリーズ “コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 43 回大会参戦体制について

Honda は、三重県・鈴鹿サーキットにて、8月7日（日）に決勝レースが行われる「FIM^{※1} 世界耐久選手権シリーズ（以下、EWC）“コカ・コーラ”鈴鹿 8 時間耐久ロードレース第 43 回大会（以下、鈴鹿 8 耐）」に参戦する主な Honda チームの体制を決定しました。

<以下、敬称略>

Honda ワークスチーム^{※2}「Team HRC」は、「CBR1000RR-R FIREBLADE SP」をベースとしたワークスマシンで参戦します。今年はライダーに、HRC テストライダーを努める長島哲太と、英国スーパーバイク選手権（以下、BSB）に参戦中で、これまでに鈴鹿 8 耐で 3 回優勝している高橋巧に加え、FIM スーパーバイク世界選手権（以下、SBK）に参戦中のイケル・レクオーナの 3 名体制です。

2017-2018 シーズンの EWC シリーズチャンピオンを獲得した「F.C.C. TSR Honda France」は、今シーズンもレギュラー参戦しています。レギュラーライダーのジョシュ・フック、ジーノ・リア、マイク・ディ・メリオの 3 名で、現在ポイントランキング 2 位（第 2 戦終了時）につけており、シリーズチャンピオン獲得に向け、確実に上位への進出を目指していきます。

「SDG Honda Racing」は、MFJ^{※3} 全日本ロードレース選手権 JSB1000 クラス（以下、JSB1000）参戦中の名越哲平に加え、スペインスーパーバイク選手権（以下、ESBK）に今年から Honda で参戦している浦本修充、ならびに JSB1000 クラスに参戦している榎戸育寛の 3 名体制で参戦します。

FIM アジアロードレース選手権 ASB1000 クラス（以下、ASB1000）に参戦中の「Honda Asia-Dream Racing with SHOWA」からは、モハメド・ザクワン・ビン・ザイディと、ゲリー・サリムの参戦が決定しています。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム

※3 MFJ とは、Motorcycle Federation of Japan（一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会）の略称

【参戦ライダーのコメント】

■ #33 Team HRC



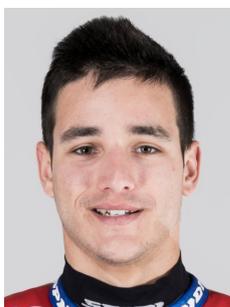
長島 哲太 (HRC テストライダー)

「Team HRC から鈴鹿 8 耐に参戦する事になりました。チームメイトの高橋巧選手は過去優勝経験が豊富な素晴らしい選手であり、イケル・レクオーナ選手は、今年から SBK で活躍しているスピードをもった選手です。HRC ワークスチームから鈴鹿 8 耐に参戦するのは初めてとなりますが、ライダー 3 人で力を合わせて CBR1000RR-R FIREBLADE SP のポテンシャルを最大限に発揮し優勝を目指して頑張ります。Honda ファンならびに 8 耐ファンの皆様、応援よろしくをお願いします」



高橋 巧 (BSB に Honda Racing UK より参戦中)

「3年振りの鈴鹿8耐に、Team HRCのライダーとして今回も参戦します。最高のチームスタッフ、ライダーと一緒に、今年こそは Team HRC で優勝するためにベストを尽くします。BSB に参戦中のため事前テストの機会は少ないのですが、長島選手が最高のマシンに仕上げられています。また、SBK からはイケル・レクオーナ選手が参加してくれます。3 人で表彰台の頂点に立てるように頑張ります。ぜひ鈴鹿サーキットに来て応援をお願いします」



イケル・レクオーナ (SBK に Team HRC より参戦中)

「Team HRC とともに鈴鹿 8 耐で戦えて嬉しいです。自分にとっては初めての耐久レースです。鈴鹿 8 耐は、ライダーにとって、気温も湿度も高く、オーバーテイクも難しく、フィジカル的にタフなレースだとは分かっています。しかし、鈴鹿サーキットは非常に好きです。鈴鹿でレースをするのが待ちきれません。チーム、スタッフと共にベストを尽くし、表彰台の一番上を目指します。鈴鹿で会いましょう」

■ #5 F.C.C. TSR Honda France



ジョシュ・フック (EWC に同チームより参戦中)

「今シーズンここまでは順調です。もっといい結果が出せたかもしれませんが、それもレースです。現在総合2位で、目標であるチャンピオンを十分に狙える位置にいます。シーズンの中で一番好きな鈴鹿になかなか行けませんでしたが、やっと Honda のホームレースで、日本のファンの前でレースができることに胸が躍ります。マシンと鈴鹿の相性は抜群ですので、いい結果を期待しています。やっと日本に戻りレースができることが嬉しく、みんなに会うことを楽しみにしています」



ジーノ・リア (EWC に同チームより参戦中)

「ここまで2レースで表彰台2回、EWC で現在総合2位は悪くありませんが、もっと上を狙いたいです。ルマンでもスパでも勝つチャンスはありました。あらゆる環境でいいペースが出ていますし、ピットストップや修理でもクルーが非常にいい仕事してくれているので、今の結果が出ています。自分もチームもみんな、大好きな鈴鹿サーキットに戻って 8 耐で戦えることに興奮しています。世界でも最高のイベントの一つで、日本のチーム、そして Honda ブランドの代表として、日本のファンの前で戦うことを心待ちにしています。日本に戻り、F.C.C. TSR Honda France のマシンを大好きな鈴鹿で乗ることにエキサイトしています。」



マイク・ディ・メリオ (EWC に同チームより参戦中)

「最初の 2 戦とも表彰台フィニッシュで、いいシーズンのスタートが切れました。マシンはスピードもありますので、あとは少し運が味方してくれたらと思います。とにかく、鈴鹿サーキットに戻れて嬉しいです。鈴鹿のファンは熱心であり、またサーキットもとても素晴らしいです。長い期間 TSR Honda のホームコースに戻れなかったので、モチベーション MAX です！チーム一丸となってチャンピオン獲得を目指します。皆さんの応援を期待しています」

■ #73 SDG Honda Racing



名越 哲平（JSB1000 クラスに同チームより参戦中）

「はじめに鈴鹿 8 耐に SDG Honda Racing より参戦できることを嬉しく思います。全日本の前半戦はけがの影響で上位争いはできませんでしたが、けがの状態も良くなり万全の状態です。鈴鹿 8 耐を迎えられます。

鈴鹿 8 耐で経験豊富な HARC-PRO の運営を軸にした SDG 昭和電機グループ様の強力なサポートのもと全力で戦います。Honda ファミリーの一員として戦えることを誇りに、チーム一丸となり優勝を目指します」



浦本 修充（ESBK に参戦中）

「鈴鹿 8 耐が今年は開催されることを嬉しく思います。また開催に向けて多大な尽力をされた、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。今年から Honda に復帰し、SDG Honda Racing から参戦することになり大変光栄に思います。自分を育ててくれたチームでまた走れることを、とても嬉しく思うと同時に責任感を感じています。日本のファンの皆様の前でレースをするのは久しぶりなので、成長した自分を見せたいと思っています。精一杯頑張るとともに、優勝を目指したいと思いますので、SDG Honda Racing の応援よろしくお願ひ申し上げます」



榎戸 育寛（JSB1000 クラスに参戦中）

「SDG Honda Racing の一員として鈴鹿 8 耐に参戦することができ、大変嬉しく思います。鈴鹿 8 耐への参戦は、今年が初めてとなりますが、幼少期からの憧れの舞台に立てることはとても嬉しい限りです。JSB 車両への適応はできていますので、自分の役割を果たしてチームに貢献していきたいと思っています。また、ST600 時代からライバルとして戦ってきた名越選手、ハルクプロの先輩であり経験豊富な浦本選手と共に戦えることを大変心強く感じています。ぜひ SDG Honda Racing の応援、よろしくお願ひします」

■ #88 Honda Asia-Dream Racing with SHOWA



モハメド・ザクワン・ビン・ザイディ

(ASB1000 クラスに同チームより参戦中)

「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で2年のブランクがありました。やっと鈴鹿8耐で戦えることを嬉しく思います。今年は、鈴鹿ではまだ走り込んでいないのですが、チームが必死にCBR1000RR-R FIREBLADE をセットアップしてくれています。また新たなチームメンバーを迎える予定なので、いつもよりハードルは高いと思います。とにかくベストを尽くし、上位を狙います！応援よろしくお願ひします」



ゲリー・サリム (ASB1000 クラスに同チームより参戦中)

「初めての鈴鹿8耐、また初めての耐久レースですので、今回戦えるチャンスをもらえたことを嬉しく思います。チームはこれまでの鈴鹿サーキットの豊富なデータを持っており、また2019年にマレーシアでの耐久レースでは表彰台に立っているので実績は十分あり、今から走るのが楽しみです。いつも応援ありがとうございます」

【鈴鹿 8 耐に参戦する主な Honda チーム】

ゼッケン	チーム名	マシン	ライダー名
5	F.C.C. TSR Honda France (エフ・シー・シー・ディーエスアール ホンダ・フランス)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	Josh Hook (ジョシュ・フック)
			Gino Rea (ジーノ・リア)
			Mike Di Meglio (マイク・ディ・メリオ)
17	Astemo Honda Dream SI Racing (アステモ・ホンダ・ドリーム・ エス・アイ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	作本 輝介 (サクモト・コウスケ)
			渡辺 一馬 (ワタナベ・カズマ)
			羽田 太河 (ハダ・タイガ)
33	Team HRC (チーム・エイチアールシー) ☆	CBR1000RR-R FIREBLADE SP ☆	長島 哲太 ☆ (ナガシマ・テツタ)
			高橋 巧 ☆ (タカハシ・タクミ)
			Iker Lecuona ☆ (イケル・レクオーナ)
40	Team ATJ with 日本郵便 (チーム・エイティジエイ・ウィズ・ ニッポンユウビン)	CBR1000RR-R FIREBLADE	岩田 悟 (イワタ・サトル)
			高橋 裕紀 (タカハシ・ユウキ)
			小山 知良 (コヤマ・トモヨシ)
72	Honda DREAM RT 桜井ホンダ (ホンダ・ドリーム・アールディー・ サクライホンダ)	CBR1000RR-R FIREBLADE	濱原 颯道 (ハマハラ・ソウドウ)
			日浦 大治朗 (ヒウラ・ダイジロウ)
			國井 勇輝 (クニイ・ユウキ)
73	SDG Honda Racing (エスディージー・ホンダ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	名越 哲平 (ナゴエ・テツペイ)
			浦本 修充 (ウラモト・ナオミチ)
			榎戸 育寛 (エノキド・イクヒロ)
88	Honda Asia-Dream Racing with SHOWA (ホンダ・アジア・ドリーム・ レーシング・ウィズ・ショーワ)	CBR1000RR-R FIREBLADE	Md Zaqhwani Bin Zaidi (モハマド・ザクワン・ビン・ザイディ)
			Gerry Salim (ゲリー・サリム)
			TBA
104	TOHO Racing (トーホー・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	清成 龍一 (キヨナリ・リュウイチ)
			國峰 啄磨 (クニミネ・タクマ)
			國川 浩道 (クニカワ・ヒロミチ)
TBA	Murayama.Honda.Dream.RT (ムラヤマ・ホンダ・ドリーム・アールティ)	CBR1000RR-R FIREBLADE	秋吉 耕佑 (アキヨシ・コウスケ)
			出口 修 (デグチ・オサム)
			今野 由寛 (コンノ・ヨシヒロ)

“チーム名”の☆印はワークsteam、“マシン”の☆印はワークスマシン、“ライダー”の☆印はHRC 契約を示す

※ 上記参戦体制は、6月20日時点のもので、変更となる場合があります

※ ゼッケン番号に基づいた順で、チーム名を掲載しています